

ホームシアタ用サウンドプロセッサシリーズ

6ch
電子ボリウム

BD3814FV

No.10081JAT05

●概要

BD3814FV は AV レシーバ、ホームシアタシステム、ミニコンポなどの用途に必要とするボリウム、バス、トレブルなどの機能を 1chip にしたサウンドプロセッサです。Bi-CMOS プロセスを採用し、低歪、低ノイズ、広ダイナミックレンジを実現しています。

●特長

- 1) ダイナミックレンジ : 132dB(トーンバイパス、VOL=MUTE、IHF-A)
- 2) マスターボリウムは 6ch 独立(0~-95dB、MUTE 1dB/Step)
- 3) Bi-CMOS プロセスを使用することにより低消費電流設計
- 4) 最大出力電圧 : 4.3Vrms (Vcc=7V、VEE=-7V、RL=10kΩ)
- 5) OP アンプ 2 個内蔵
- 6) 2 線式シリアルコントロール(3.3V、5V の両方対応)

●用途

AV レシーバ、ホームシアタシステム、ミニコンポ、TV など。

●絶対最大定格(Ta=25°C)

項目	記号	定格	単位
印加電圧	VCC	7.5 ※ ¹	V
	VEE	-7.5	
入力信号電圧	VIN	VCC+0.3~VEE-0.3	V
許容損失	Pd	900 ※ ²	mW
動作温度範囲	Topr	-20~+75	°C
保存温度範囲	Tastg	-55~+125	°C

※¹ 印加電圧範囲内であっても VCC 側だけに印加した場合、過大な電流が流れて IC が破壊される恐れがありますのでご注意ください。

電源印加時は、VEE と VCC を同時に印加するか、VEE 側を早く印加してください。

※² Ta=25°C 以上は 9mW/°C で軽減。標準基板(サイズ : 70×70×1.6mm)装着時

●動作範囲

Ta=25°C で基本動作していること。

項目	記号	定格			単位
		最小	標準	最大	
動作電源電圧	VCC	5	7	7.3	V
	VEE	-7.3	-7	-5	

●電気的特性

特に指定のない限り, Ta=25°C, VCC=7V, VEE=-7V, f=1kHz, Vin=1Vrms, RL=10kΩ, Rg=600Ω, Master volume=0dB, Bass and Treble=0dB.

項目	記号	規格値			単位	条件	
		最小	標準	最大			
回路電流	VCC	IQ	—	7	17	mA	No signal
	VEE		-17	-7	—		
L 入力電流(CL,DA)	IIL	—	0.5	5	μA	CL=DA=0V	
H 入力電流(CL,DA)	IIH	—	0	5	μA	CL=DA=5V	
出力電圧利得 1	Gv1	-2	0	2	dB	Measure : Pin27,28,29,30, 31,32	
出力電圧利得 2	Gv2	-2	0	2	dB	Measure : Pin3, 7	
全高調波歪率 1	THD1	—	0.001	0.03	%	Measure : Pin27,28,29,30,31,32 BW=400~30kHz	
全高調波歪率 2	THD2	—	0.001	0.03	%	Measure : Pin3, 7 BW=400~30KHz	
最大出力電圧 1	Vomax1	3.6	4.3	—	Vrms	Measure : Pin27,28,29,30,31,32 THD=1%	
最大出力電圧 2	Vomax2	3.6	4.3	—	Vrms	Measure : Pin 3,7 THD=1%	
出力雑音電圧 1	Vno1	—	1.0	6.0	μVrms	Measure : Pin 27, 28 Tone : By-pass, Rg=0Ω, BW=IHF-A	
		—	1.7	10	μVrms	Measure : Pin 27, 28 Tone : ON, Rg=0Ω, BW=IHF-A	
出力雑音電圧 2	Vno2	—	1.0	6.0	μVrms	Measure : Pin3, 7, 29, 30, 31, 32 Rg=0Ω, BW=IHF-A	
チャンネル間クロストーク Rch→Lch	CTCRL	—	-95	-80	dB	Measure : Pin27(OUTFL) Rg=0Ω, BW=IHF-A Reference:Pin28(OUTFR)=1Vrms	
チャンネル間クロストーク Lch→Rch	CTCLR	—	-95	-80	dB	Measure : Pin28(OUTFR) Rg=0Ω, BW=IHF-A Reference:Pin27(OUTFL)=1Vrms	
チャンネル間クロストーク SRch→SLch	CTCSRL	—	-95	-80	dB	Measure : Pin 30(OUTSL) Rg=0Ω, BW=IHF-A Reference:Pin31(OUTSR)=1Vrms	
チャンネル間クロストーク SLch→SRch	CTCSLR	—	-95	-80	dB	Measure : Pin 31(OUTSR) Rg=0Ω, BW=IHF-A Reference:Pin30(OUTSL)=1Vrms	
チャンネル間クロストーク Cch→SWch	CTCCSW	—	-95	-80	dB	Measure : Pin 32(OUTSW) Rg=0Ω, BW=IHF-A Reference:Pin29(OUTC)=1Vrms	

出力電圧

	項目	記号	規格値			単位	条件
			最小	標準	最大		
ポリウム出力	入力インピーダンス V	RinV	14	20	26	k Ω	Measure : Pin27,28,29,30,31,32
	ポリウムコントロール範囲	GVR	-98	-95	-92	dB	Measure : Pin27,28,29,30,31,32 Vin=3Vrms
	ポリウムセットエラー1	VE1	-1.5	0	1.5	dB	Measure : Pin27,28,29,30, 31,32 0 to -53dB, Vin=3Vrms
	ポリウムセットエラー2	VE2	-2.5	0	2.5	dB	Measure : Pin27,28,29,30,31,32 -54 to -95dB, Vin =3Vrms
	最大減衰量	Vmin	—	-115	-105	dB	Measure : Pin27,28,29,30,31,32 Vin =3Vrms, BW=IHF-A
	残留ノイズ 1	Vnom1	—	1.0	6.0	μ Vrms	Measure : Pin27, 28 Tone : By-Pass, Rg=0 Ω , BW=IHF-A
	残留ノイズ 2	Vnom2	—	1.0	6.0	μ Vrms	Measure : Pin29, 30, 31, 32 Rg=0 Ω , BW=IHF-A
	チャンネル間クロストーク SWch→Cch	CTCSWC	—	-95	-80	dB	Measure : Pin 29(OUTC) Rg=0 Ω , BW=IHF-A Reference:Pin32(OUTSW)=1Vrms
トレブル	トレブル最大ブーストゲイン	GTB	12	14	16	dB	Measure : Pin 27, 28 f=15kHz, Vin =0.4Vrms
	トレブル最大カットゲイン	GTC	-16	-14	-12	dB	Measure : Pin 27, 28 f=15kHz, Vin =0.4Vrms
	トレブルステップ分解能	TR	—	2	—	dB	Measure : Pin 27, 28 f=15kHz, Vin =0.4Vrms
	トレブルゲインセットエラー	TE	-2	0	2	dB	Measure : Pin 27, 28 f=15kHz, Vin =0.4Vrms
バス	バス最大ブーストゲイン	GBB	12	14	16	dB	Measure : Pin 27, 28 f=100Hz, Vin=0.4Vrms
	バス最大カットゲイン	GBC	-16	-14	-12	dB	Measure : Pin 27, 28 f=100Hz, Vin =0.4Vrms
	バスステップ分解能	BR	—	2	—	dB	Measure : Pin 27, 28 f=100Hz, Vin =0.4Vrms
	バスゲインセットエラー	BE	-2	0	2	dB	Measure : Pin 27, 28 f=100Hz, Vin =0.4Vrms

※本製品は「耐放射線設計」はなされておられません。

● タイミングチャート

1) 信号のタイミング規定

- ・ データはクロックの立ち上がりで読み込みます。
 - ・ ラッチはクロックの立ち下がりを読み込みます。
 - ・ ラッチ信号は LOW で終了してください。
- *誤動作を避けるためにもクロック、データ信号は LOW で終了してください。

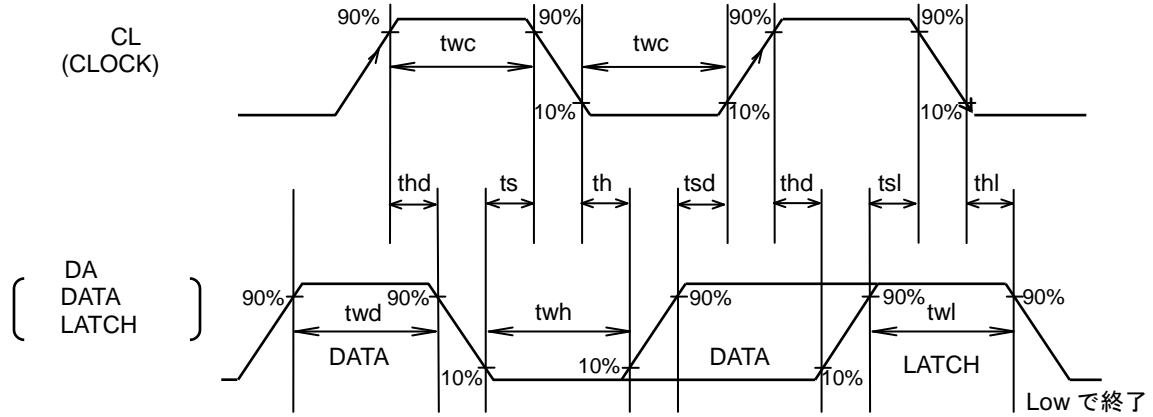


Fig.1

項目	記号	規格値			単位
		最小	標準	最大	
最小クロック幅	twc	2.0	—	—	μs
最小データ幅	twd	2.0	—	—	μs
最小ラッチ幅	twl	2.0	—	—	μs
LOW ホールド幅	twh	2.0	—	—	μs
データセットアップ時間(DATA→CLK)	tsd	1.0	—	—	μs
データホールド時間(CLK→DATA)	thd	1.0	—	—	μs
ラッチセットアップ時間(CLK→LATCH)	tsl	1.0	—	—	μs
ラッチホールド時間(DATA→LATCH)	thl	1.0	—	—	μs
ラッチローセットアップ時間	ts	1.0	—	—	μs
ラッチローホールド時間	th	1.0	—	—	μs

2) 制御信号の電圧規定

項目	条件	規格値			単位
		最小	標準	最大(≦Vcc)	
“H”入力電圧	Vcc=5~7.3V VEE=-5~-7.3V	2.2	—	5.5	V
“L”入力電圧		0	—	1.0	V

3) 制御データフォーマット基本構成

← 入力方向

	MSB															LSB	
Data	D16	D15	D14	D13	D12	D11	D10	D9	D8	D7	D6	D5	D4	D3	D2	D1	D0
	Data														Select Address		

・制御データフォーマット

← 入力方向

															Select Address		
Data ①	D16	D15	D14	D13	D12	D11	D10	D9	D8	D7	D6	D5	D4	D3	D2	D1	D0
	Treble				Bass				Tone	*	*	*	*	*	0	0	0
Data ②	D16	D15	D14	D13	D12	D11	D10	D9	D8	D7	D6	D5	D4	D3	D2	D1	D0
	Master Volume FRch							Master Volume FLch							0	0	1
Data ③	D16	D15	D14	D13	D12	D11	D10	D9	D8	D7	D6	D5	D4	D3	D2	D1	D0
	Master Volume SRch							Master Volume SLch							0	1	0
Data ④	D16	D15	D14	D13	D12	D11	D10	D9	D8	D7	D6	D5	D4	D3	D2	D1	D0
	Master Volume Cch							Master Volume SWch							0	1	1

セレクトアドレスの設定状態を変えることで、4つの制御データフォーマットを選択できます。
 セレクトアドレスデータは、表記以外の設定をしないでください。
 電源投入時毎にすべてのデータを初期設定してください。
 *は0または1

(例)

← 入力方向

MSB	LSB	MSB	LSB	MSB	LSB	MSB	LSB
Data①	L	Data②	L	Data③	L	Data④	L

"L"はラッチを表します。

電源投入後、2回目以降については変更したいデータのみを設定することが可能です。

(例)バスを変更したい時

入力方向

← MSB	LSB
Data①	L

"L"はラッチを表します。

●应用回路例

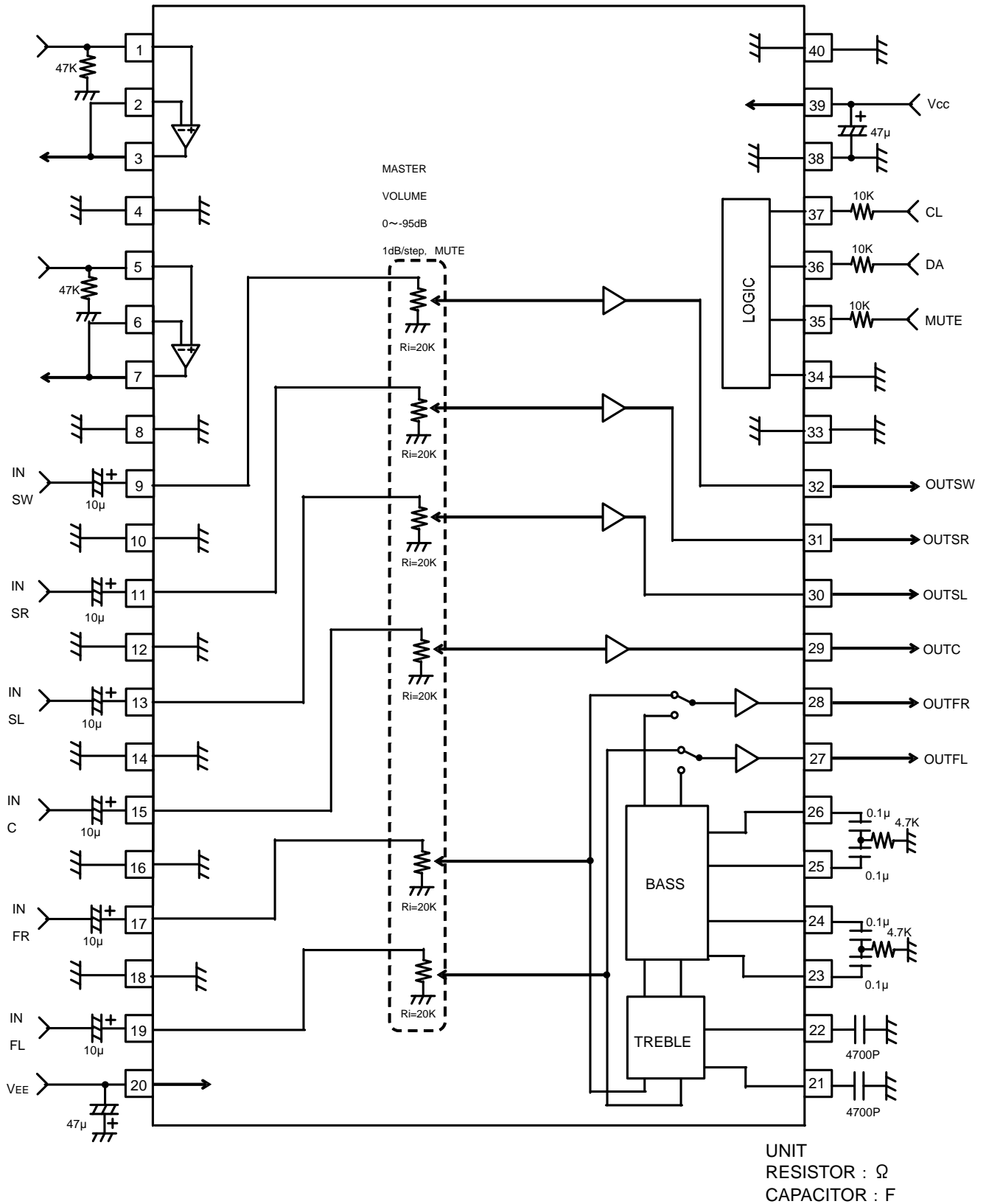


Fig.2

●参考データ

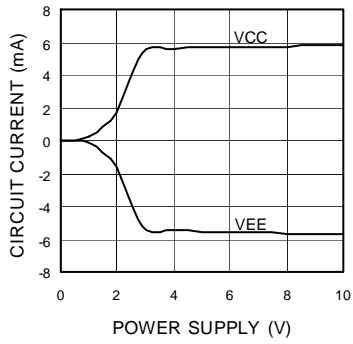


Fig.3 回路電流—電源電圧

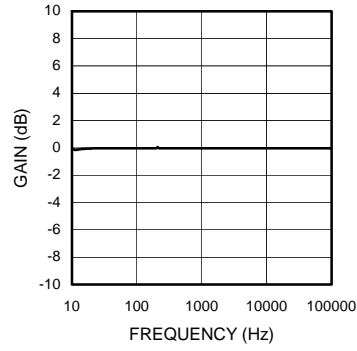


Fig.4 電圧利得—周波数

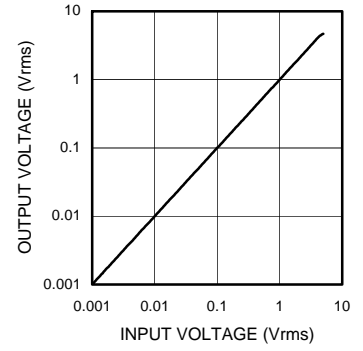


Fig.5 出力電圧—入力電圧

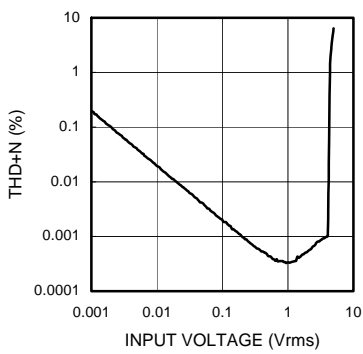


Fig.6 全高調波歪率—入力電圧

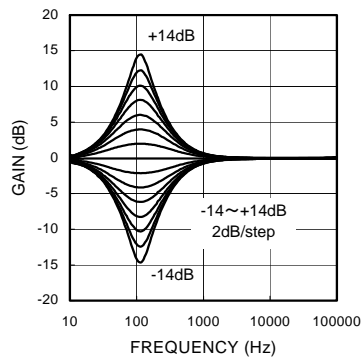


Fig.7 バスゲイン—周波数

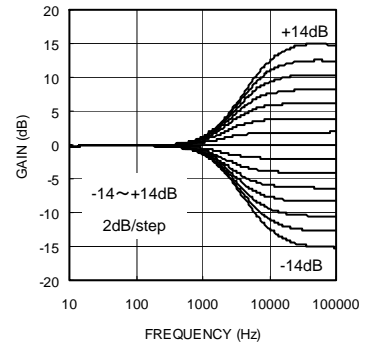


Fig.8 トレブルゲイン—周波数

●使用上の注意

- (1) 記載の数値及びデータは設計代表値であり、その値を保証するものではありません。
- (2) アプリケーション回路例は推奨すべきものと確信しておりますが、ご使用にあたっては更に特性のご確認を十分にお願います。外付け部品定数を変更してご使用になる時は、静特性のみならず過渡特性も含め外付け部品及び弊社 LSI のばらつきなどを考慮して十分なマージンを見て決定してください。
- (3) 絶対最大定格について
印加電圧及び動作温度範囲などの絶対最大定格を超えた場合は、LSI が破壊することがあります。絶対最大定格を超える電圧及び温度を印加しないでください。絶対最大定格を超えるようなことが考えられる場合には、ヒューズなどの物理的な安全対策を実施して頂き、LSI に絶対最大定格を超える条件が印加されないようご検討ください。
- (4) VEE 電位について
VEE 端子の電圧はいかなる動作状態においても、最低電圧になるようにしてください。過渡現象を含めて、各端子電圧が VEE 端子よりも低い電圧になっていないことを実際にご確認ください。
- (5) 熱設計について
実使用状態での許容損失を考慮して、十分なマージンを持った熱設計を行ってください。
- (6) 端子間ショートと誤実装について
LSI を基板に実装する時には、LSI の方向や位置ずれに十分注意してください。誤って実装し通電した場合、LSI を破壊することがあります。また、LSI の端子間や端子と電源間、端子と GND 間に異物が入るなどしてショートした場合についても破壊することがあります。
- (7) 強電磁界内での動作について
強電磁界内での使用は、誤動作をする可能性がありますので十分ご評価ください。
- (8) シリアルコントロールについて
CL 端子、DA 端子はアナログ信号系のラインへ干渉しないように配線及びパターン配線してください。
- (9) 電源 ON/OFF 時について
 - (1) 電源 ON/OFF 時はショック音が発生しますので、セット上にて MUTE をかけてください。
 - (2) 電源の立ち上げ時は、VEE と VCC を同時に立ち上げるか、VEE 側を早く立ち上げてください。
VCC 側を先に立ち上げますと VCC-VEE 間に過大な電流が流れます。
- (10) トーンバイパス切り替えについて
トーンバイパス切り替えは、セット上にて MUTE をかけてください。

●熱軽減特性

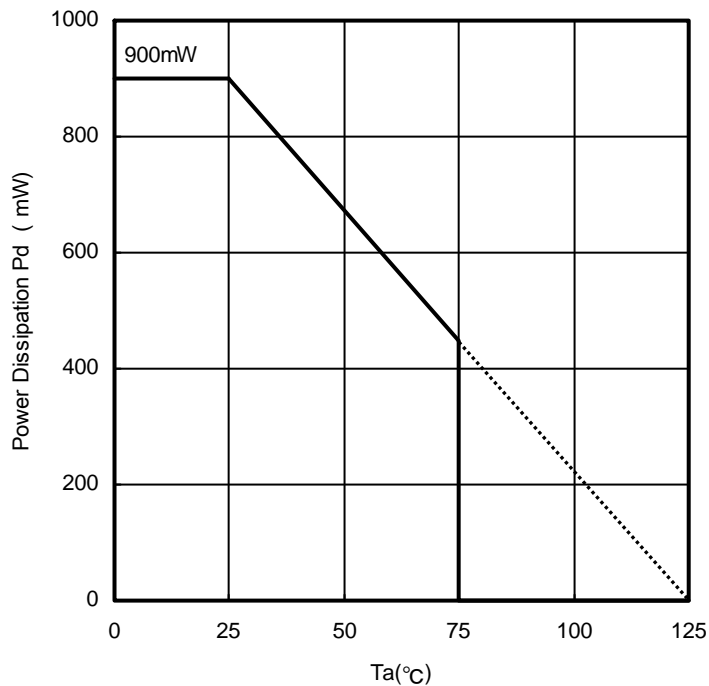


Fig.9

BD3814FV

ローム標準基板実装時数値

基板サイズ : 70×70×1.6mm 材質 : FR4 ガラエポ基板 (銅箔面積 3%以下)

●発注形名セレクション

B	D
---	---

ローム形名

3	8	1	4
---	---	---	---

品番

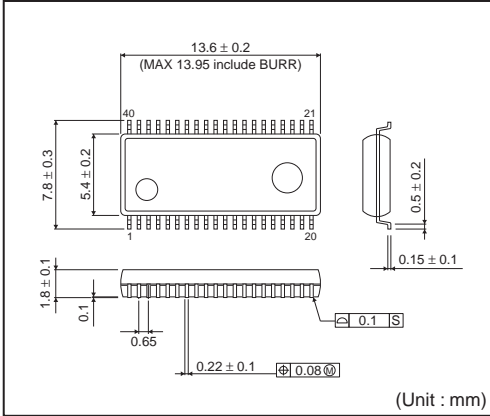
F	V
---	---

パッケージ
FV : SSOP-B40

E	2
---	---

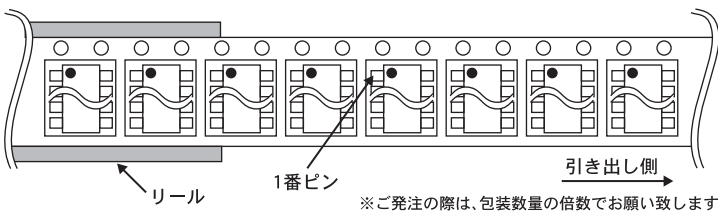
包装、フォーミング仕様
E2 : リール状エンボステープング

SSOP-B40



<包装仕様>

包装形態	エンボステープング
包装数量	2000pcs
包装方向	E2 (リールを左手に持ち、右手でテープを引き出したときに) 製品の1番ピンが左上にくる方向



ご注意

ローム製品取扱い上の注意事項

1. 本製品は一般的な電子機器（AV 機器、OA 機器、通信機器、家電製品、アミューズメント機器等）への使用を意図して設計・製造されております。従いまして、極めて高度な信頼性が要求され、その故障や誤動作が人の生命、身体への危険若しくは損害、又はその他の重大な損害の発生に関わるような機器又は装置（医療機器^(Note 1)、輸送機器、交通機器、航空宇宙機器、原子力制御装置、燃料制御、カーアクセサリを含む車載機器、各種安全装置等）（以下「特定用途」という）への本製品のご使用を検討される際は事前にローム営業窓口までご相談くださいますようお願い致します。ロームの文書による事前の承諾を得ることなく、特定用途に本製品を使用したことによりお客様又は第三者に生じた損害等に関し、ロームは一切その責任を負いません。

(Note 1) 特定用途となる医療機器分類

日本	USA	EU	中国
CLASS III	CLASS III	CLASS II b	Ⅲ類
CLASS IV		CLASS III	

2. 半導体製品は一定の確率で誤動作や故障が生じる場合があります。万が一、かかる誤動作や故障が生じた場合であっても、本製品の不具合により、人の生命、身体、財産への危険又は損害が生じないように、お客様の責任において次の例に示すようなフェールセーフ設計など安全対策をお願い致します。
 - ①保護回路及び保護装置を設けてシステムとしての安全性を確保する。
 - ②冗長回路等を設けて単一故障では危険が生じないようにシステムとしての安全を確保する。
3. 本製品は、一般的な電子機器に標準的な用途で使用されることを意図して設計・製造されており、下記に例示するような特殊環境での使用を配慮した設計はなされておられません。従いまして、下記のような特殊環境での本製品のご使用に関し、ロームは一切その責任を負いません。本製品を下記のような特殊環境でご使用される際は、お客様におかれまして十分に性能、信頼性等をご確認ください。
 - ①水・油・薬液・有機溶剤等の液体中でのご使用
 - ②直射日光・屋外暴露、塵埃中でのご使用
 - ③潮風、Cl₂、H₂S、NH₃、SO₂、NO₂等の腐食性ガスの多い場所でのご使用
 - ④静電気や電磁波の強い環境でのご使用
 - ⑤発熱部品に近接した取付け及び当製品に近接してビニール配線等、可燃物を配置する場合。
 - ⑥本製品を樹脂等で封止、コーティングしてのご使用。
 - ⑦はんだ付けの後に洗浄を行わない場合(無洗浄タイプのフラックスを使用された場合も、残渣の洗浄は確実にを行うことをお勧め致します)、又ははんだ付け後のフラックス洗浄に水又は水溶性洗浄剤をご使用の場合。
 - ⑧本製品が結露するような場所でのご使用。
4. 本製品は耐放射線設計はなされておられません。
5. 本製品単体品の評価では予測できない症状・事態を確認するためにも、本製品のご使用にあたってはお客様製品に実装された状態での評価及び確認をお願い致します。
6. パルス等の過渡的な負荷（短時間での大きな負荷）が加わる場合は、お客様製品に本製品を実装した状態で必ずその評価及び確認の実施をお願い致します。また、定常時での負荷条件において定格電力以上の負荷を印加されますと、本製品の性能又は信頼性が損なわれるおそれがあるため必ず定格電力以下でご使用ください。
7. 許容損失(Pd)は周囲温度(Ta)に合わせてディレーティングしてください。また、密閉された環境下でご使用の場合は、必ず温度測定を行い、ディレーティングカーブ範囲内であることをご確認ください。
8. 使用温度は納入仕様書に記載の温度範囲内であることをご確認ください。
9. 本資料の記載内容を逸脱して本製品をご使用されたことによって生じた不具合、故障及び事故に関し、ロームは一切その責任を負いません。

実装及び基板設計上の注意事項

1. ハロゲン系（塩素系、臭素系等）の活性度の高いフラックスを使用する場合、フラックスの残渣により本製品の性能又は信頼性への影響が考えられますので、事前にお客様にてご確認ください。
2. はんだ付けはリフローはんだを原則とさせていただきます。なお、フロー方法でのご使用につきましては別途ロームまでお問い合わせください。詳細な実装及び基板設計上の注意事項につきましては別途、ロームの実装仕様書をご確認ください。

応用回路、外付け回路等に関する注意事項

1. 本製品の外付け回路定数を変更してご使用になる際は静特性のみならず、過渡特性も含め外付け部品及び本製品のバラツキ等を考慮して十分なマージンをみて決定してください。
2. 本資料に記載された応用回路例やその定数などの情報は、本製品の標準的な動作や使い方を説明するためのもので、実際に使用する機器での動作を保証するものではありません。従いまして、お客様の機器の設計において、回路やその定数及びこれらに関連する情報を使用する場合には、外部諸条件を考慮し、お客様の判断と責任において行ってください。これらの使用に起因しお客様又は第三者に生じた損害に関し、ロームは一切その責任を負いません。

静電気に対する注意事項

本製品は静電気に対して敏感な製品であり、静電放電等により破壊することがあります。取り扱い時や工程での実装時、保管時において静電気対策を実施の上、絶対最大定格以上の過電圧等が印加されないようにご使用ください。特に乾燥環境下では静電気が発生しやすくなるため、十分な静電対策を実施ください。(人体及び設備のアース、帯電物からの隔離、イオナイザの設置、摩擦防止、温湿度管理、はんだごてのこて先のアース等)

保管・運搬上の注意事項

1. 本製品を下記の環境又は条件で保管されますと性能劣化やはんだ付け性等の性能に影響を与えるおそれがありますのでこのような環境及び条件での保管は避けてください。
 - ①潮風、Cl₂、H₂S、NH₃、SO₂、NO₂等の腐食性ガスの多い場所での保管
 - ②推奨温度、湿度以外での保管
 - ③直射日光や結露する場所での保管
 - ④強い静電気が発生している場所での保管
2. ロームの推奨保管条件下におきましても、推奨保管期限を経過した製品は、はんだ付け性に影響を与える可能性があります。推奨保管期限を経過した製品は、はんだ付け性を確認した上でご使用頂くことを推奨します。
3. 本製品の運搬、保管の際は梱包箱を正しい向き（梱包箱に表示されている天面方向）で取り扱ってください。天面方向が遵守されずに梱包箱を落下させた場合、製品端子に過度なストレスが印加され、端子曲がり等の不具合が発生する危険があります。
4. 防湿梱包を開封した後は、規定時間内にご使用ください。規定時間を経過した場合はベーク処置を行った上でご使用ください。

製品ラベルに関する注意事項

本製品に貼付されている製品ラベルにQRコードが印字されていますが、QRコードはロームの社内管理のみを目的としたものです。

製品廃棄上の注意事項

本製品を廃棄する際は、専門の産業廃棄物処理業者にて、適切な処置をしてください。

外国為替及び外国貿易法に関する注意事項

本製品は外国為替及び外国貿易法に定める規制貨物等に該当するおそれがありますので輸出する場合には、ロームにお問い合わせください。

知的財産権に関する注意事項

1. 本資料に記載された本製品に関する応用回路例、情報及び諸データは、あくまでも一例を示すものであり、これらに関する第三者の知的財産権及びその他の権利について権利侵害がないことを保証するものではありません。従いまして、上記第三者の知的財産権侵害の責任、及び本製品の使用により発生するその他の責任に関し、ロームは一切その責任を負いません。
2. ロームは、本製品又は本資料に記載された情報について、ローム若しくは第三者が所有又は管理している知的財産権その他の権利の実施又は利用を、明示的にも黙示的にも、お客様に許諾するものではありません。

その他の注意事項

1. 本資料の全部又は一部をロームの文書による事前の承諾を得ることなく転載又は複製することを固くお断り致します。
2. 本製品をロームの文書による事前の承諾を得ることなく、分解、改造、改変、複製等しないでください。
3. 本製品又は本資料に記載された技術情報を、大量破壊兵器の開発等の目的、軍事利用、あるいはその他軍事用途目的で使用しないでください。
4. 本資料に記載されている社名及び製品名等の固有名詞は、ローム、ローム関係会社若しくは第三者の商標又は登録商標です。

一般的な注意事項

1. 本製品をご使用になる前に、本資料をよく読み、その内容を十分に理解されるようお願い致します。本資料に記載される注意事項に反して本製品をご使用されたことによって生じた不具合、故障及び事故に関し、ロームは一切その責任を負いませんのでご注意願います。
2. 本資料に記載の内容は、本資料発行時点のものであり、予告なく変更することがあります。本製品のご購入及びご使用に際しては、事前にローム営業窓口で最新の情報をご確認ください。
3. ロームは本資料に記載されている情報は誤りがないことを保証するものではありません。万が一、本資料に記載された情報の誤りによりお客様又は第三者に損害が生じた場合においても、ロームは一切その責任を負いません。